弥彦スカイラインいよいよ着工
目を覚す!!間瀬海岸観光資源

佐渡、弥彦国定公園の弥彦山と角田山をドライブウェーで結び、雄大な日本海と越後平野の景観を見せようという構想で地元市町村が建設期成同盟会結成し、県に強く働きかけた。県は四十年度当初予算に調査費二〇〇万円を計上、企業局の手によって、有料道路としての実現の可能性を検討し始めた。しかし、県営有料道路建設には①じゃり道がまだ多く残っている県下の道路建設は時期早尚②累計赤字が十六年間も続き、ピーク時には三億四九〇〇万円にも達する③利用の見通しがあまいなどの反対論が大勢を占めて継続審議となった。しかし、この論議をきっかけに有料道路への関心が高まりいよいよ九月第四工区に分け着工され四十四年八月の完成を目指して工事が進められる。

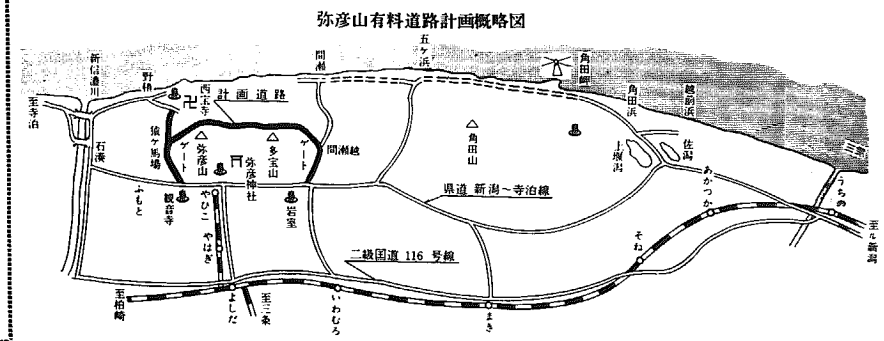
佐渡、弥彦国定公園弥彦地区は美しく雄大な環境をもつ本県観光の中心的位置を占めているこの中心をなす多宝山、及び弥彦山が毅一」が単に弥彦山頂での展倉越後平野の中央部海岸に屹立し、山裾を海におとしている独立峰であるためこの連山を縦走することにより、はるかに碧い海をへだてた佐渡ケ島と山の海岸線及び平野部の美観を一望におさめ得る眺望絶佳、勝れた展望性を有することと、一方平野側を走る県道新潟～寺泊線に沿って、越後一の宮として知られる弥彦神社をはじめ、岩室、弥彦、観音寺の各温泉群や、多くの名所、旧跡が点在し、全県的な休養地となっているとともに広く全国からの観光客をも集めて年間一〇〇万余人の訪れをみている。しかしながら、この地域の観光施設の現状はなお充分とは言えず宿泊施設の整備或は日帰り県民休暇村等の建設計画等も検討されてきたところであるが現状における地域観光客の動態を見ると、山頂附近に至る交通機関である「ロープウェイ」望を目的としているため、その利用率は地域観光客の約30%程度にとどまっており、観光資源に恵まれ、景観上大きな特色と優位性をもちながら連山を縦走し得る道路施設がないため平野部の観光のみにとどまる観光客が多い現実を示すもので、このままの状態では将来の発展は期し難いので前述接遇施設の整備とともに自然的観光資源の開発の必要性が着目されている。

以上の諸点から検討の結果、最近レジャブームと生活水準の向上に伴うレクリエーションの普及等により年平均10%の増加を予想される観光客の需要をみたすと共に本県中心部における県民レクリエーションの場を造成し、佐渡を頂点とするこの地区の観光を、佐渡～新潟～弥彦地区を周遊する立体観光へと大きく飛躍させるため、観光施設の一環としてこの道路を建設し本県の観光と産業の開発に資し、県民社会福祉の増進に寄与しようとするものである計画の概要は、県道和納停車場前～間瀬線岩室地内通称「間瀬越」を起点とし石瀬峠、多宝山、弥彦山頂附近を通り、弥彦村地内通称「猿ケ馬場」地点林道入枚沢線に接続し更に「観音寺」地点で県道新潟寺泊線に連絡する本線及び「猿ケ馬場」地点から分岐し寺泊町内通称「西生寺」地点で町道弥彦裏参道線と接続しさらに県道寺泊、間瀬線に連絡する支線とからなる全長約20㎞におよぶ、観光有料道路で、さらに関越及び北陸自動車道を含めた関連道路及び、新潟～間瀬～寺泊を結び産業海岸道路の建設整備促進、接遇施設等広域観光開発一連の施策が併せて実施されることによって、より以上の発展成果が期待される。

車線数、路面の種類並びに設計速度

車線数	本線　アスファルト、コンクリート舗装
速度	40㎞
乗用自動車	時乗合型自動車及び貨物自動車　25㎞時
総額	十三億六千万円
営業期間	四月～十一月(二四〇日)

弥彦山有料道路計画概略図



保健婦臨地実習生の紹介

今年も新潟県公衆衛生看護学校の学生の臨地実習が岩室村で行なわれます。これは保健婦としての業務全般を現地の保健計画に基づいて実施される公衆衛生活動の理解と、その一分野である公衆衛生看護事業の実際を体験させるための臨地実習をするものです。村の保健婦と現場実習を行ないますのでその節はよろしくお願い申し上げます。

実習生氏名　田村清子　阿部恵子

八・二八水害義援金等御協力感謝いたします

このたびの八・二八集中豪雨により発生した被害は下越の公範囲に亘り多数の死傷者のほか、家屋の流失浸水、田畑の冠水等その惨状は誠に同情に堪えない次第であります。

すでに新発田市以下被害甚大な市町村に対し災害救助法が適用され着々と救援の手がさしのべられていますが、本村においても前号の本紙に義援金募集しましたところ次の方々から温浄財が寄与されました。

ほんとうに御協力感謝いたします。さっそく県水害対策本部援護係へ送付いたしました。

(敬称略)

一〇〇円(和納)星野一豊
一、〇〇〇円(新谷)佐藤清作　二、〇〇〇円(原)大岩強　一、〇〇〇円(和納)中沢八重子　一、〇〇〇円大字和納二区　一、〇〇〇円(石瀬)有坂フキ　二、〇〇〇円(和納)大塚リセ　五、〇〇〇円(和納)渡辺医院一同　一、〇〇〇円(石瀬)右近敏夫　一、〇〇〇円(岩室)堀越幸司　三八七円(西中)山田敏彦　四、三三六(横曽根)岩室自動車一同　一六、八五〇円大字石瀬　一、〇〇〇円(岩室)佐藤賢之輔　一、〇〇〇円(金池)吉井東七郎

合計三、六七三円也となり更に石瀬の全世帯の御協力により精米一〇六㎏が寄せられ直ちに本部へ発送いたしました。

受けましょう!
老人健康診査を十月中旬実施します

老人福祉法に依り、毎年市町村長は六十五才以上の老人に期間を定めて健康診査を実施しなければならないことになっておりますので本年は十月中旬実施することで計画準備中でありますこの診査は一般診査と精密診査に区別されておりまして一般診査を受けて、医師より精密診査の要があると診断された方は後日今一度精密に診査されることになっております。どちらも無料で診査されますので、近く該当者へ区長さんを通して老人健康診査記録票を交付しますから最寄の医院で受診して下さい(他市町村医院で受診出来ませんから御注意下さい。)

自分の身体は自分で管理しなければなりませんことは言を俟つまでもなく、常に健康体を保って下さい。老人健康記録票(村では六十才以上)を必らず持参の上受診して下さるようおねがい致します。

広域行政
岩室、巻、西川、潟東
じんがい焼却場工事着工

文化の進展と共にゴミの量も増えるといわれ、このゴミの処理については市町村行政のなやみの一つとなっており単独運営では財政負担が多く、共同処理することにより負担の軽減が計られるので、巻町外三ケ町村衛生組合(巻町、西川町岩室村、潟東村)で、じんがい焼却場の建設を計画し去る九月十一日巻町割前地内じんがい焼却場敷地で起工式を行ないました。

工事請負契約金額は四、三九〇万円で荏原インフィルコ株式会社が請負って本年度中に完成の予定であります。ゴミ焼却炉建設工事概要は

1、能力
一日(八時間作業)
三〇t
2、施設
(1)運搬路、通路はコンクリート舗装し、敷地内は芝張り、植樹
(2)炉上家、一階部分鉄筋コンクリート一部鉄骨造一四五・八四平方米二階鉄骨造一一〇平方米、計二五五・八四平方米、管理室、鉄筋コンクリート造一〇五・六平方米、トラックケール室、コンクリートブロック木造平家建八・四平方米
(3)炉、三〇tエハラB型焼却炉一基、後列三連六火房式
燃焼室より出た未燃ガスを更に再燃させ、洗煙装置、除塵網を通して煙突(四十米×一・七米)より排煙する。コンベアによる灰の搬出、温水が熱の補助燃焼設備を備え、秤量一〇t最小目盛一〇瓩の押釦による印字カード式の計量機を備える等近代的焼却炉設備であります。

開眼対策募金に感謝
村の目標額上廻り達成

○目の不自由な人に愛の光りを贈ろう!!を合言葉に全県下に募金運動が実施され岩室村も保健衛生課を窓口として募金を実施いたしましたところ、皆さんの深い理解と御協力をいただき目標額を上廻る募金を達成することが出来ました。

募金は既にとりまとめ県募金対策委員会に送付致しました。ここに広報紙を通じまして厚くお礼申上げます。

部落別募金額

部落名	募金額	部落名	募金額
池	1,870	一区	1,500
瀬	6,475	二区	1,290
室	11,385	三区	1,680
曽	2,420	四区	1,530
樋	1,230	五区	1,560
栄	1,430	六区	1,500
本田	500	七区	2,010
瀬内	400	計	11,070
保ケ谷	570	小原	830
野	2,050	雲田	1,080
井	3,110	岡	500
中	1,620	橋	900
上	500	一区	3,650
鳥	240	二区	2,400
島	670	三区	3,090
長曽	720	四区	2,280
根	1,000	五区	1,400
越	690	六区	2,400
谷	690	七区	2,160
島	1,000	八区	2,641
畑	38,570	九区	570
計		小計	23,901
		和納遺族会	5,000
		合計	78,541

村のあちこちで交通事故が「ふえています」
秋の全国交通安全運動旬間
○十月二十二日～三十日

国民たすけあい共同募金運動は二十一年目を迎えました。ことし十月から三ケ月間が共同募金の月となりました。ことしの重点配分計画は、最も必要とされる児童福祉の子供の遊び場設置整備であります。更に、その日の生活に因っている人恵まれない母子家庭、学校へも行けない子供たち、体の不自由な方々、身寄のない老人、長い病気で苦しんでいる人々、また、私たちの町や村を明るく住みよいところにするため、その地域の人達が一丸となって温かい心をさしのべて「たすけあい」をして頂く保健福祉計画など、いろいろな仕事をすすめてみんなの力で明るい社会をつくる月です。

この運動については、毎年みなさまから絶大な御支援を頂いておりますが、上記事情ご覧察下され、お互いの福祉向上のため従来以上のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

全国行政相談週間の実施について

行政相談のことについては、過去を通じいろいろ皆様方より御理解を願い、又幾多の御相談を持込まれ、御利用をいただいているところでありますが、尚まだ趣旨の徹底を欠いているむきもあろうかと存じますので、来る週間の実施を機会に、改めてその目的を述べ一層の御認識を得たいと思います。

行政相談の目的は、国民県民、市町村民である住民が、行政に対し苦情、意見要望等ある場合、この申出を親切に公聴的に受理して納得の行くように処理することでありますが、このことは国県、市町村等の行政機関としてこの反省を促がし、行政の運営改善に資すると共に、住民の福祉向上を図ることは勿論のこと、行政の民主化に、また行政のサービス増進に寄与するということが、この目的であります。

そこで今回特に、全国行政相談週間を設けて、皆様方の御利用に応ずることとなったのであります。どうか本村の相談日には、問題がありましたら、御遠慮なく御出下さい。尚今回の相談日には、行政相談委員の外、人権ようご委員、民生委員代表、農業委員代表、その他各種委員代表、役場各課長等で御相談に応ずる予定にいたして居りますので、よろしくお願いいたします。

記

全国行政相談週間
自十月十六日
至十月二十二日
岩室村の行政相談日
十月二十日午後一時より午後四時まで
於　岩室村役場

"おわび"

間瀬地区敬老会番付中左の方々が脱落を調査発見訂正いたしましたのでおわび申上げます。通知は本人宛いたしました。

間瀬二区　幸村丈之助
間瀬七区　阿部　トワ
間瀬五区　牧野　タノ
間瀬七区　阿部熊次郎
間瀬七区　小林　チヨ
間瀬五区　遠藤　フク
尚小林さんは夫静男さんと高砂特別番付に登載されます。

おねがい

郷土史資料充実の為左記の書類がありましたら寄贈下さい。(公民館)

一、岩室村々誌　昭八年刊
一、岩室村是　大七年刊
一、間瀬郷土史　昭二十九年刊
一、和納村是　大七年刊